

世界の風景を撮る写真家・吉村和敏の

美しい小さな村に魅せられて



1年の約半分は取材で海外に出かける吉村和敏さん。数年前からテーマにしているヨーロッパの美しい村について、その魅力や撮影のコツなどを伝えてもらいました。

▲世界遺産に登録されているブルゴーニュ地方の村ヴェズレー(フランス) 写真提供: 吉村和敏

世 界各地で写真を撮り続け、23年になります。最初の10年はカナダの美しいカントリーサイドがテーマでした。十数年前からヨーロッパに足を運ぶようになり、ブルーモーメントやマジックアワーと呼ばれる黄昏の美しい光と色を求めて北欧などにもよく出かけます。そして私のもうひとつのテーマが「パストラル」。牧歌的・田園の情景といった意味で、音楽や絵画の世界でもよく用いられる言葉です。

ヨーロッパは、パリやローマなど大都市の佇まいも魅力的ですが、ヨーロッパらしい暮らしぶりが風景として残されているような、小さな田舎町や村はとても味わい深く、宮崎駿のアニメの世界を彷彿させることも多く存在します。

フ ランスとイタリアには「美しい村」という登録制度があり、「美しい村」協会によって、人口2千人以下と受け入れ体制など、世界遺産のようにけつこう厳しい基準が設けられており、基準から外れると認定を取り消されてしまいます。

この「美しい村」は、フランスに約150カ所、イタリアには約200カ所。現地で「美しい村」の公式ガイドブックとミシランの分厚い地図を購入し、リストに沿って村のつひとつを訪ね、2年前に4年半かけてまとめた『フランスの

美しい村』全踏破の旅(講談社)を出版しました。そして現在は「イタリアの美しい村」に取りかかっています。それがまとまるのは6年ぐらい先になるでしょう。

美 しい村」の入り口には認定マークの看板が立ち、その美しさを継承する歴史と文化が感じられ、さりげない石壁も実に味わいがあります。車を駐車場に停め、城壁の塔や門をくぐると、ぱっと光が当たり、村がその美しい姿を現す瞬間はいつも心がときめきます。

村に入ると、まず村の全景を撮ります。そして素晴らしいと感じたら、その村のどこに惹かれているのかを考え、その特徴的な風景をどんどんカメラに収めていきます。たいていの場合、絵になる村かそうでないかは目にしたとたんにわかります。魅力的な村に住む人もそこで暮らすことを楽しんでますし、自慢の村を守っていくこうとする努力が覗えるからです。

ヨ ーロッパの村はどこもごんまりとまとまっています。どんな小さな村にも必ず教会があります。とにかく歩きまわって、花で飾られた家並みや昔使っていた井戸、素朴な石畳の路地、レストランの洒落た看板など、散策を楽しみながら、いろいろなものに目を向け、



人口2,200人ほどの町ピエンツァの歴史地区は世界遺産(イタリア)

花だらけの村など、個性的なところも多く、驚いてしまいます。皆様もフランス、イタリアに限らず、スペインや英国などヨーロッパの美しい小さな町や村を訪ね、大都会では味わえないその魅力を感じてみてください。

この記事は、2011年8月22日(大阪)で行われた吉村さんの講演をもとに、編集室でアレンジしたものです。

美しい村を撮るために

写真家 吉村 和敏



旅の撮影は、まず身軽になることが大切です。私はカメラを首から提げ、小物類をまとめたカメラバッグをたすき掛けにして歩きまわります。旅の写真は、いい作品を撮ろうとして力むと失敗しがちです。心構えとしては、感動を記録するつもりで撮っていくと、いい作品が生まれます。

風景にちょっと人物を入れると印象的な作品になる場合がありますし、宿泊ホテルやレストランの料理も撮っておくと、あとでいい思い出になります。私は村をひと巡りして、気に入ると1泊し、夕暮れはさらに魅力的だろうと感じた撮影ポイントへ夕食後にまた出かけます。ちなみに、夕暮れや夜の撮影は次の3つがポイントになります。

- 1 対象物を絞り込む。例えば教会の塔など無理して上まで入れず、見る側に想像する余地を残してあげることも必要です。大胆にカットすることを試みてください。プロでも難しい露出時間は、デジカメなら5秒・10秒・15秒の3枚ほど撮影し、出来の良い1枚を選ぶようにします。
- 2 三脚を使う。手持ちのカメラは5秒も露出すると確実にブレますが、3~4千円ぐらいの三脚でも驚くほどの効果が得られます。
- 3 感度を上げる。デジカメの場合、夜間は1600とか3200に設定して撮影してみてください。

Profile 吉村 和敏 (よしむら かずとし)

1967年、長野県松本市生まれ。2003年 カナダメディア賞大賞受賞。2007年 写真協会賞新人賞受賞。現在は「イタリアの美しい村」や「日本の美しい村」をテーマに活動中。ホームページ <http://www.kaz-yoshimura.com/>

「フランスの美しい村」全踏破の旅(講談社)



添乗員より情報



大下 添乗員

サルトルが絶賛したスペイン北部の村

“グリーンスペイン”と呼ばれるスペイン北部、ビスケー湾から5kmほど中に入ったところにある緑の田園に囲まれたサンティリャーナ・デル・マールは4千人足らずの小さな村。世界遺産「アルタミラ洞窟」へはわずか2km、村全体が国の史跡に指定されています。中世のアストゥリアス王国時代、この地に館を構えた貴族たちの立派な紋章を持つ家並みと石畳の路が味わい深く、

アルタミラ洞窟 ©カンタブリア観光局



中世そのままの町並みが素敵! ©スペイン政府観光局

サルトルが「スペインで一番美しい村」と讃えました。北スペインを代表するロマネスク様式の参事会教会も見もので、食べ物ではクリーミーなチーズで作った「ケサーダ」や美味しいミルクをぜひご賞味ください。私も感動した村サンティリャーナ・デル・マールは、「聖地ルルドと世界遺産巡礼街道11日間」でご案内します。

美しい小さな町や村を訪ねるコースは、本誌8ページをご覧ください。

ご予約の際は、「Vamos WESTを見た」とお伝えください。抽選で「宅配クーポン」が当たります! ※詳しくは2ページをご覧ください。

7 VamosWEST 新春号 詳しくは 阪神航空 検索 または <http://www.hanshin-travel.co.jp/>

大阪フレンドツアーセンター ☎06-4795-5960

VamosWEST 新春号 6